

# 知ろう！考えよう！公共施設のより良いかたち

## in 小山市民センターまつり

～開催報告～

2019年3月2日(土)第24回小山市民センターまつりにブースを出展し、再編に向けた取り組み“みんなで考える場”を開催しました。お祭りに訪れた親子連れや市民のみなさんに、町田市の公共施設再編の取り組みについて知っていただく機会となりました。当日は、221名のお客様にお立ち寄りいただき、終始大盛況でした。



センターまつりとは？  
市民センター・コミュニティセンターで活動している地域の団体による舞台発表や作品展示などを行うお祭りです。

### ① パネル展示

公共施設再編について解説したパネルを展示しました。センターの入口に展示させていただいたこともあり、多くの方にご覧いただきました。

#### ★内容★

- ① 公共施設の現状・課題
- ② 再編の取り組み
- ③ 公共施設・公共空間のより良いかたち
- ④ 公共施設マップ



### ② 缶バッジ製作

その場で撮った自分の写真を使って、缶バッジを製作しました。小山地域の方、サークル活動の展示や舞台上で発表をしていた方など、子どもからお年寄りまで、誘いあってブースにお越しいただき、沢山の方が世界にひとつだけのオリジナル缶バッジづくりをしました。約150個を製作！



▲真ボードの穴から顔を出してパシャリ📷



▲顔写真を機械にはめて缶バッジ製作



▲缶バッジ完成🎉

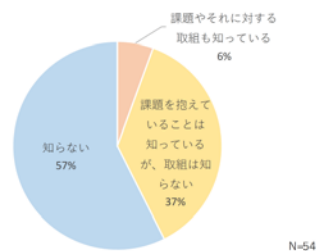
FC 町田ゼルビアのゼルビーも作っていたよ。イクメン缶バッジになった。



### ③ アンケート

公共施設再編の取り組みについてアンケートを行い、54名の方から貴重なご意見をいただきました。皆さんの回答をご紹介します。(アンケートから抜粋)

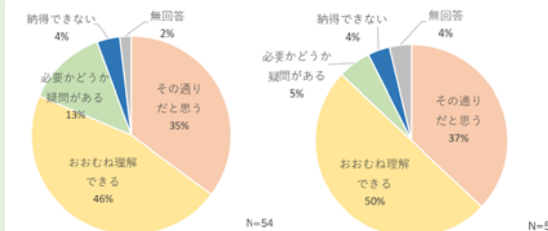
【問】町田市が所有する公共施設の多くが老朽化してきているという課題に対し、将来を見据えて公共施設を再編していく取組があることを、あなたは知っていましたか。



⇒約6割の方が知らないと答えており、課題や再編の取組について知っている方の割合は6%にとどまっています。

【問】財政状況が厳しさを増す中でも、今後も必要な公共サービスを維持または向上させていくためには、これまで以上に様々な工夫をすることが必要です。このことについて、あなたはどのように感じますか？

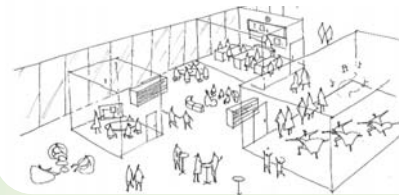
- 今後も必要な公共サービスを維持していくためには、公共施設の総量を減らしていく必要がある。
- 公共サービスを維持していくためには、市民自らが主体となって提供していくことも必要である。



⇒8割の方が今後も必要なサービスを維持していくためには総量を減していくことに理解を示しています。

⇒約9割の方が市民自ら主体となって提供していくことに理解を示しています。

いろんな機能を組み合わせよう！どんな機能が一緒にあったら魅力が向上するかな



- **高齢者福祉施設 × スポーツ施設** 高齢者の運動向上。昼は福祉施設 夕方はスポーツ施設として利用する
- **小学校 × サロン** 子どもとのコミュニケーションがとれる
- **保育園 × 市民センター** 地域の子どもたちも出入りしやすい

### ④ 共同出展

小山市民センターは「東京2020オリンピック 自転車競技ロードレース」のコースが近くを通ります。今回は、オリンピック・パラリンピック等国際大会推進課とブースを共同で出展しました。



◀町田市内コース (約3.4km)

